



作品タイトル

三貴子の宝鍋

作者

奈

形式

漫画

作品元の地名

淡路島



●作者について

≫自己紹介

オリジナルのイラストレーション、漫画作品を制作しています。
近年は、日本文化・歴史を題材にした漫画制作を中心に活動しています。

≫応募のきっかけ

作品の公募サイトで募集を拝見しました。

●作品について

≫作品の解説

古事記のストーリーをなぞりながら、伊弉諾から生まれた三貴子が、立派な神様になるまでの家族の物語を描きました。

≫思い・受賞コメント

優秀賞という光栄な賞をいただき、大変嬉しく思います！
作品制作のために古事記にまつわる資料を集めていくうちに、多くの日本の魅力との出会いがありました。
これからも、未来へ語り継いでいくべき日本文化や歴史を題材に、作品制作に励みたいと思います。

≫審査員コメント



里中先生

全ての絵の構図が美しく、
それぞれの神のキャラもよい。
スサノオの話も読みたい。



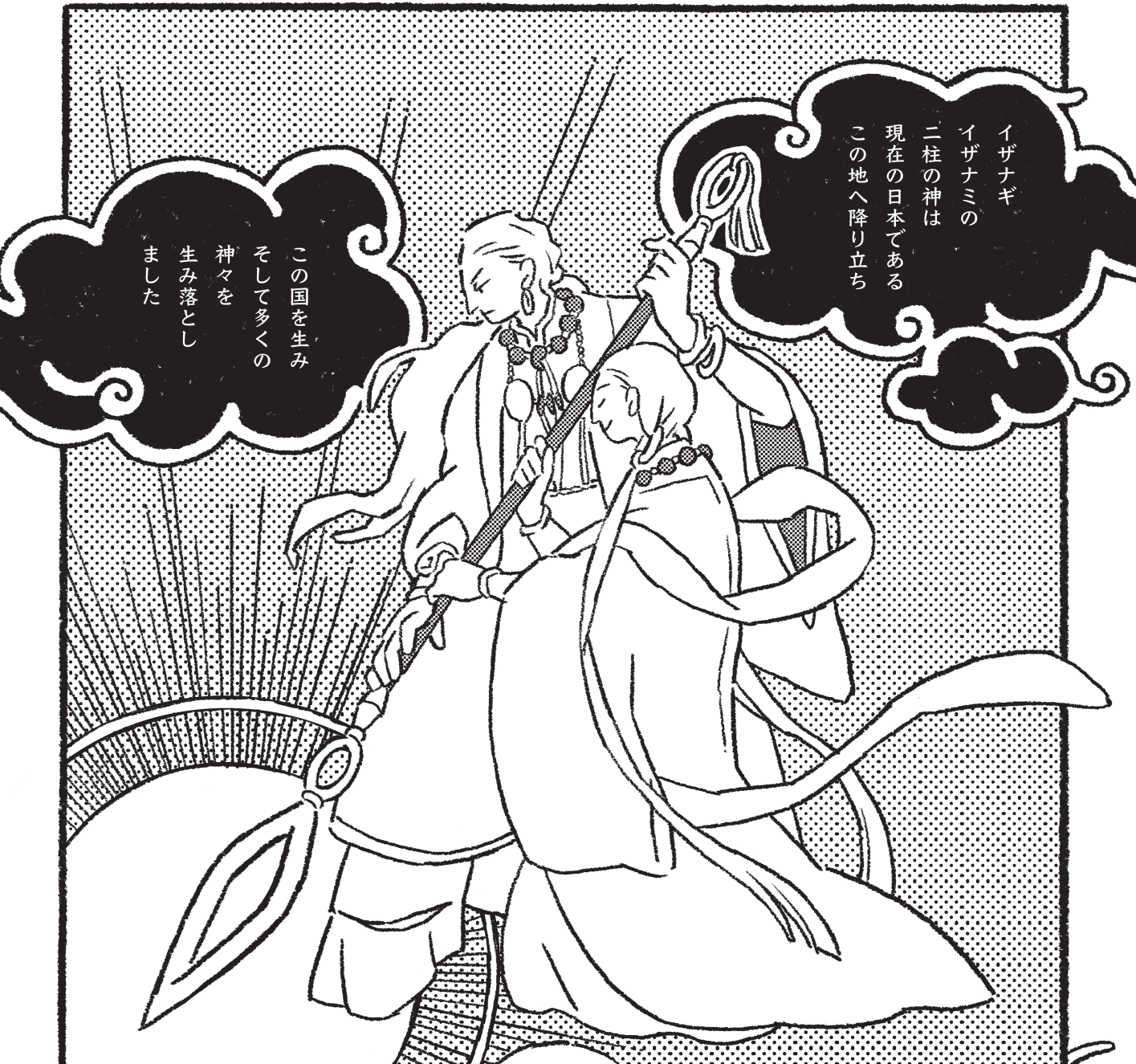
中村先生

完成度高い、作品として纏まっている、
画面も美しい。

全体に丁寧な仕上がりで
内容に魅せられた。




吉村先生



イザナギ
イザナミの
二柱の神は
現在の日本である
この地へ降り立ち

この国を生み
そして多くの
神々を
生み落とす
ました



のちにイザナミは
火の神カグツチを
生みましたが

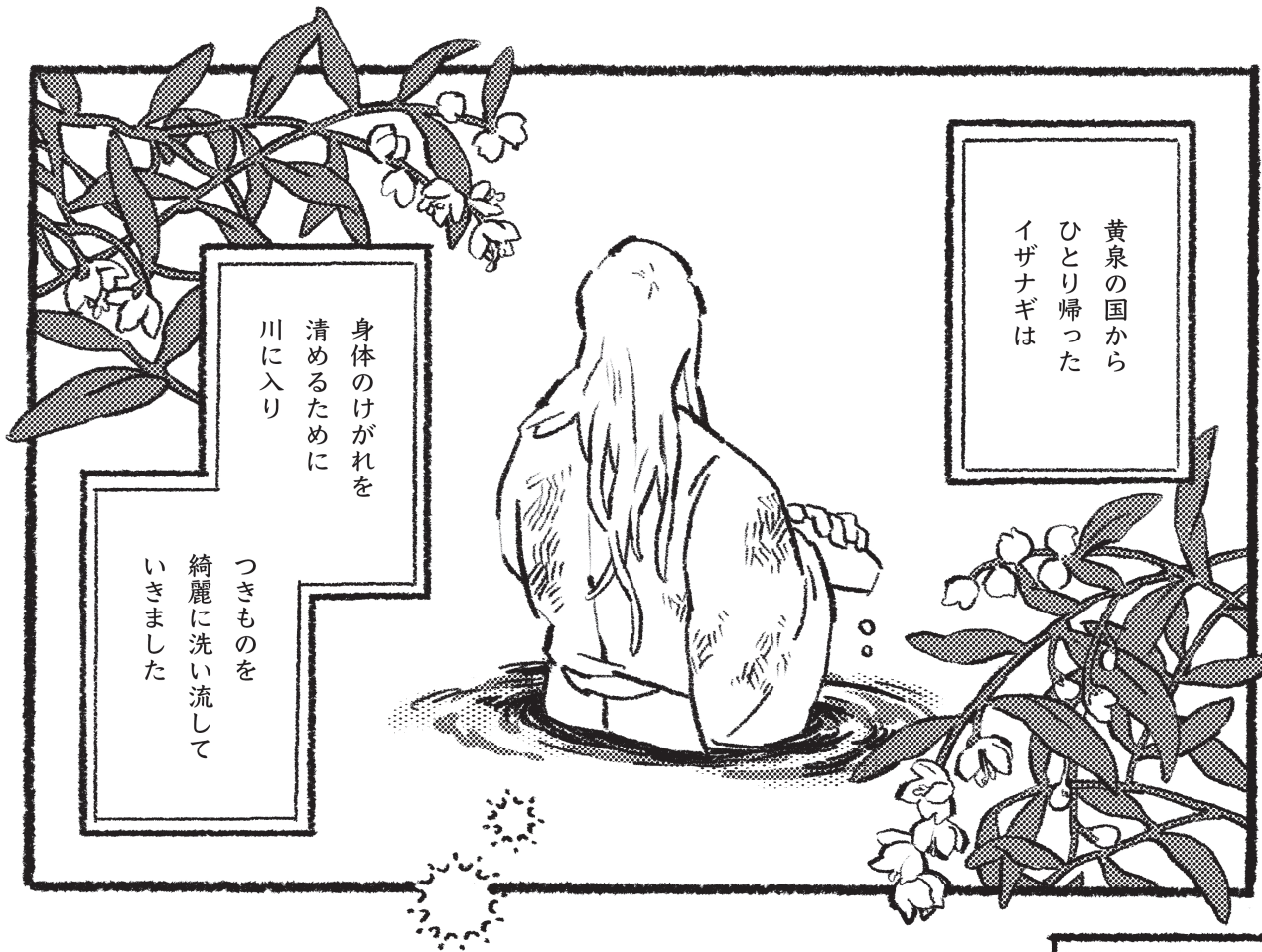
その炎の
威力により
尊い命を落として
しまいました

死者の暮らす
黄泉の国の者
となつたイザナミを

イザナギは
連れ戻そうと
力を尽くしましたが



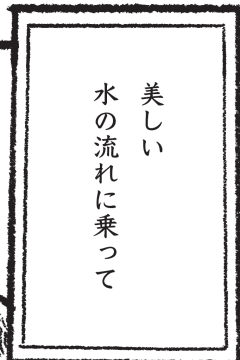
イザナミが
現世に戻ってくる
事はありませんでした



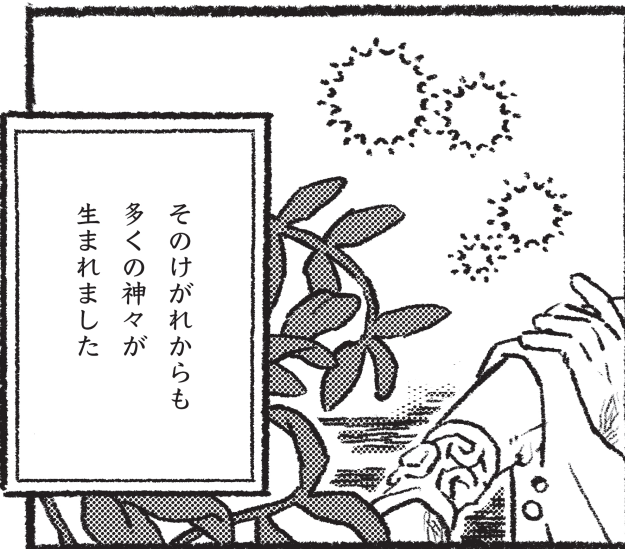
黄泉の国から
ひとり帰った
イザナギは

身体のけがれを
清めるために
川に入り

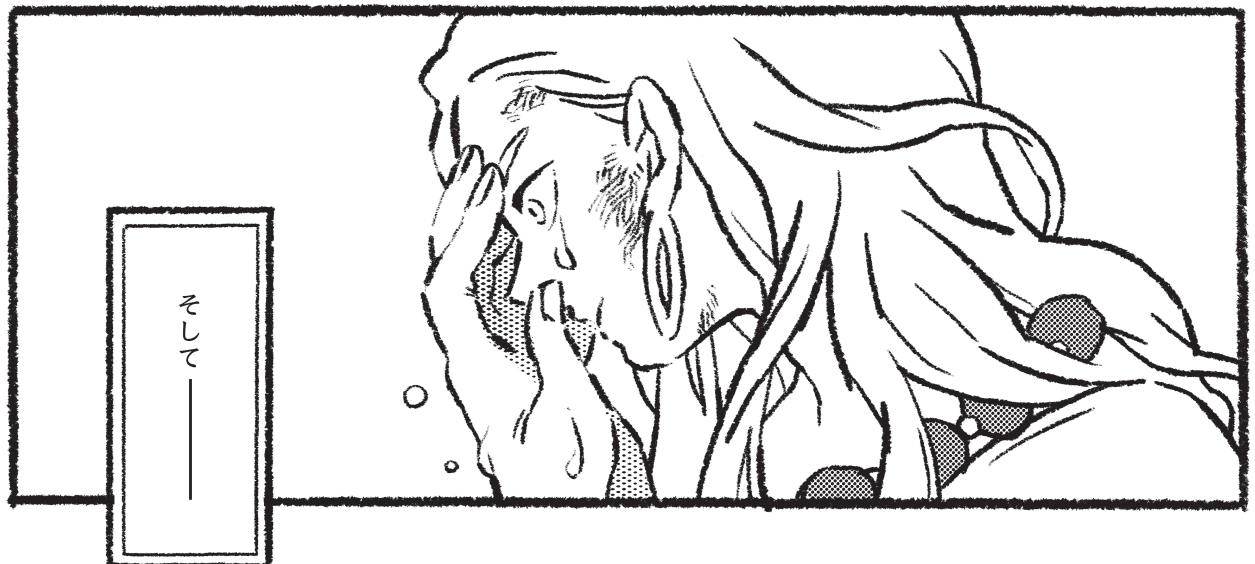
つきものを
綺麗に洗い流して
いきました



美しい
水の流れに乗って



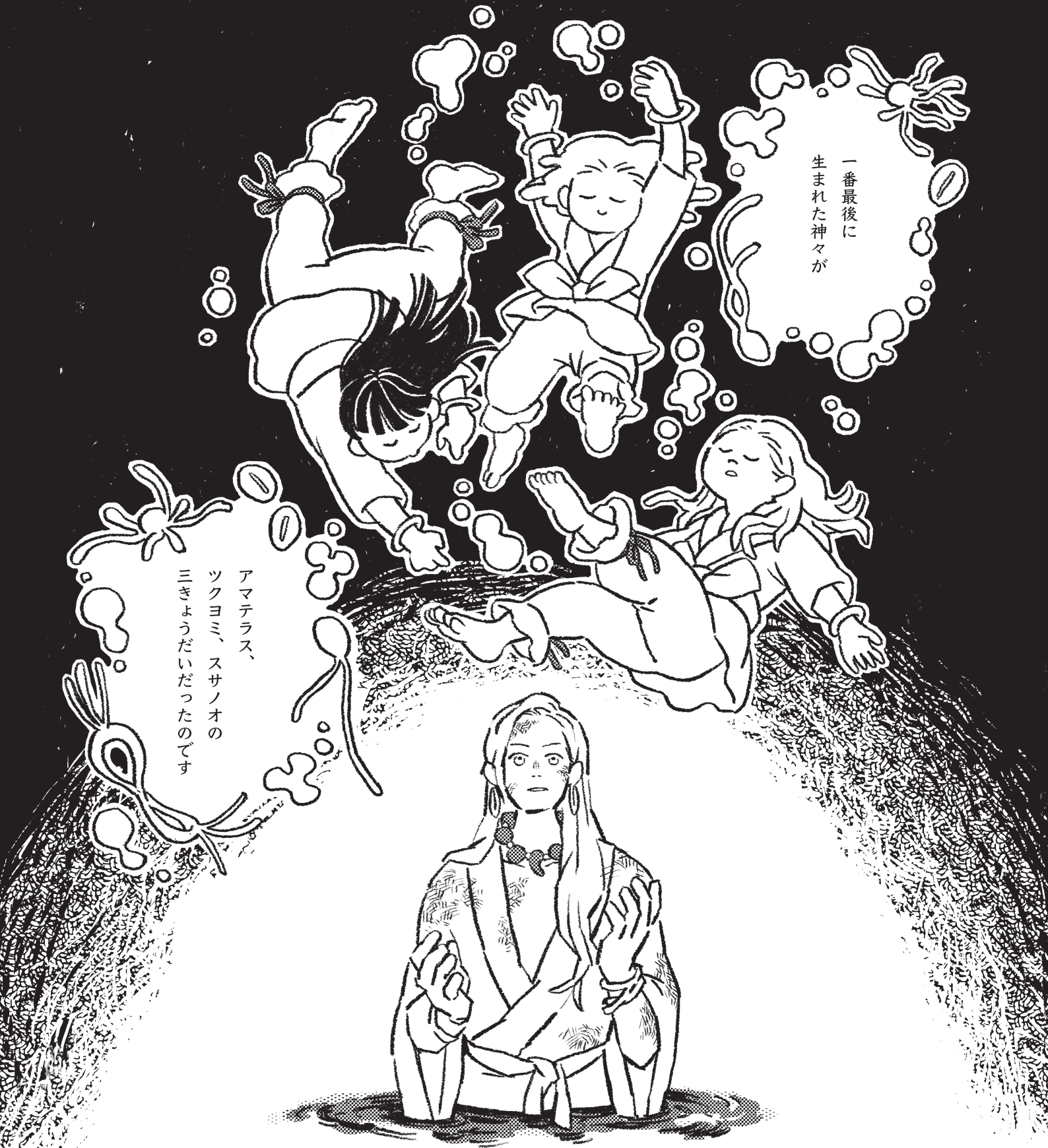
そのけがれからも
多くの神々が
生まれました

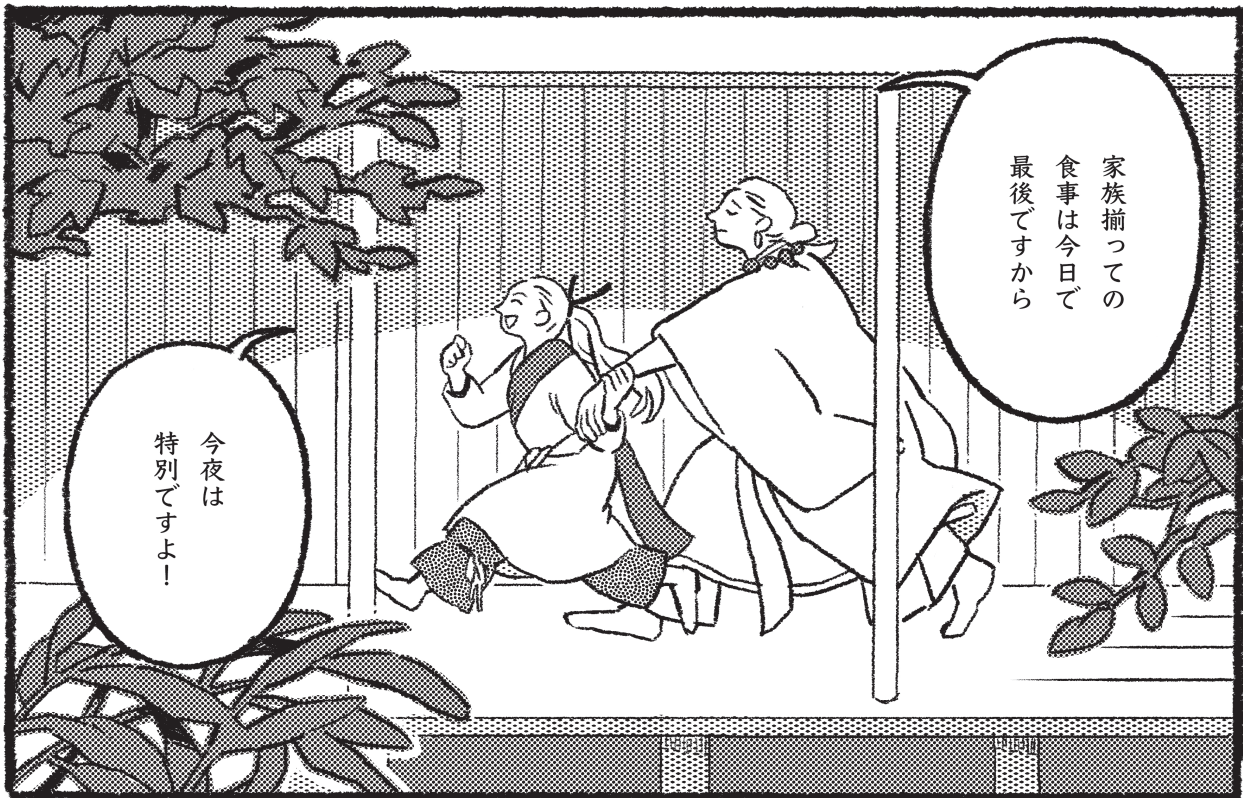
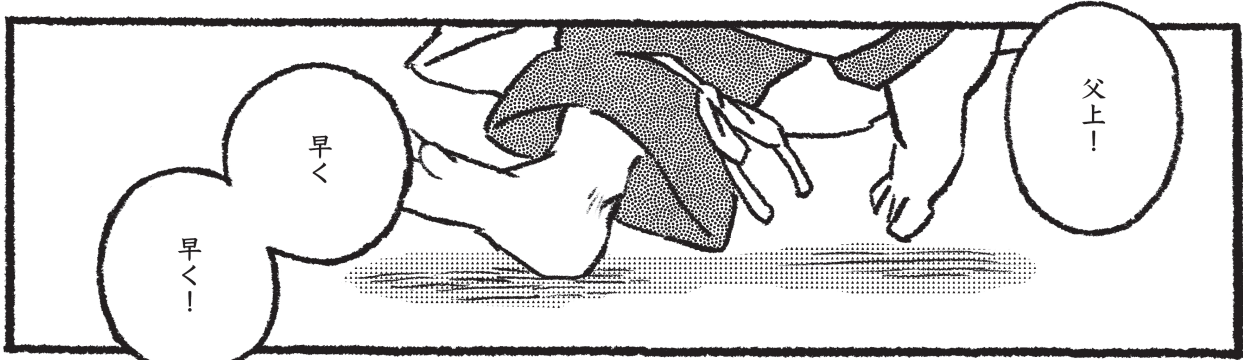
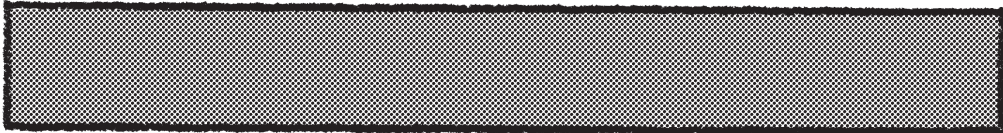


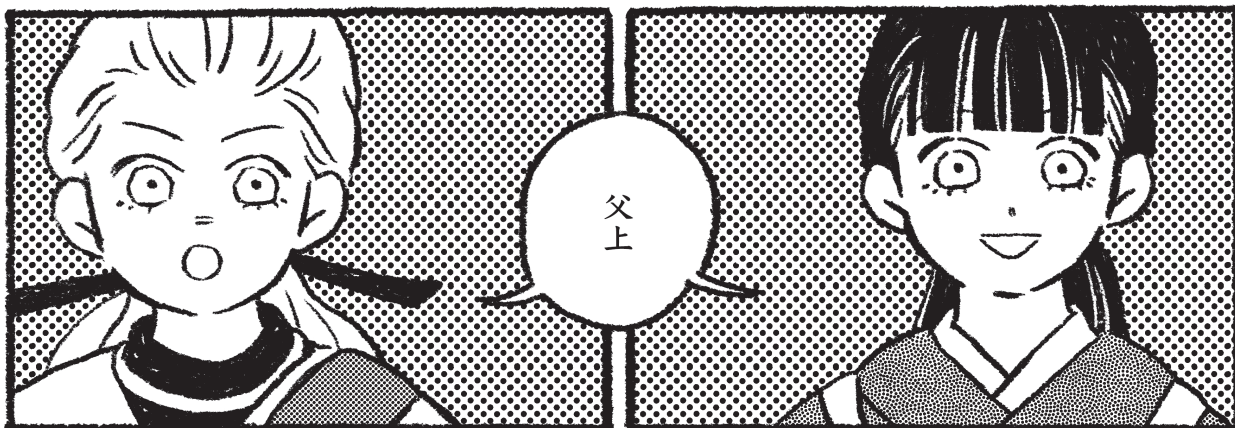
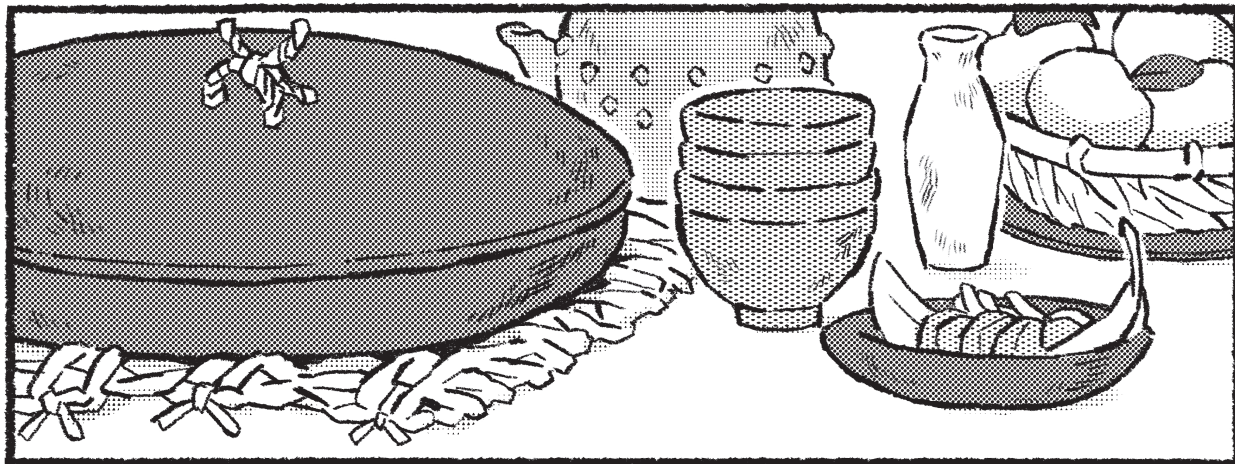
そして――

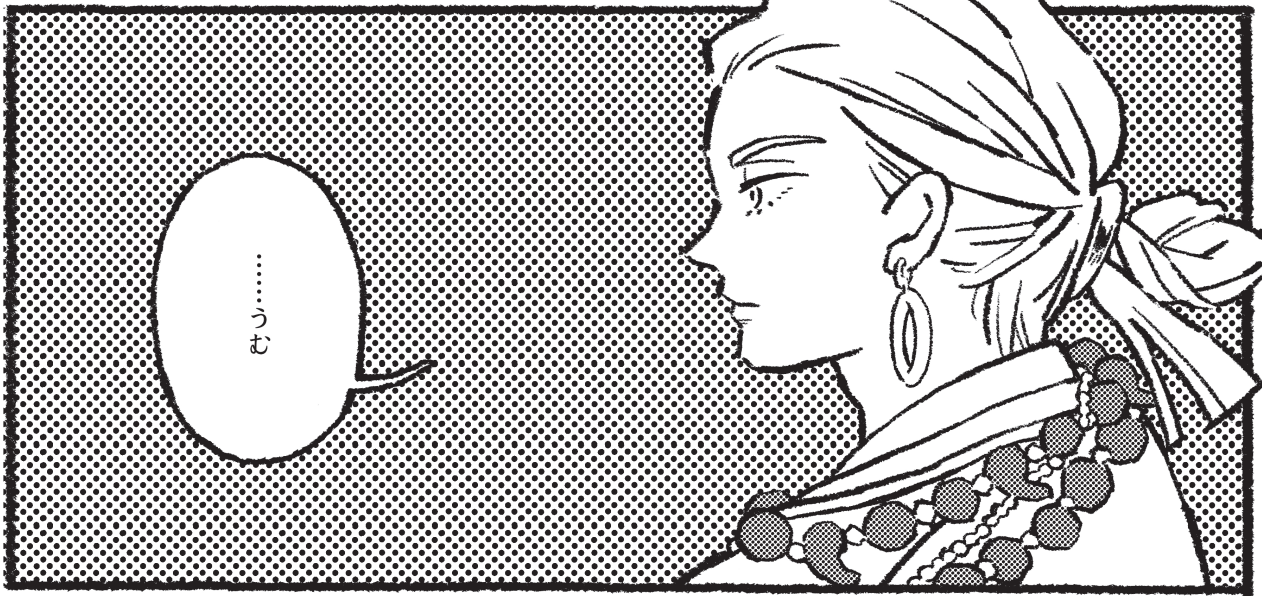
一番最後に
生まれた神々が

アマテラス、
ツクヨミ、スサノオの
三きょうだいだったので









……つむ

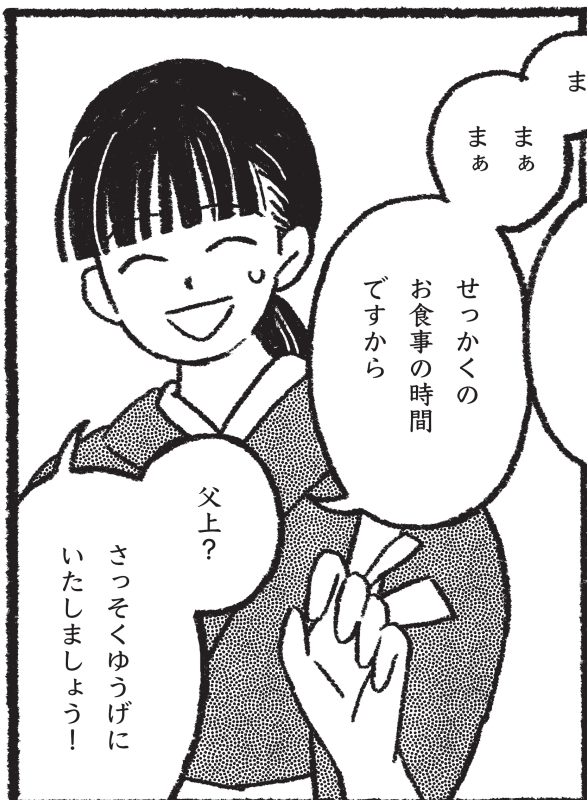
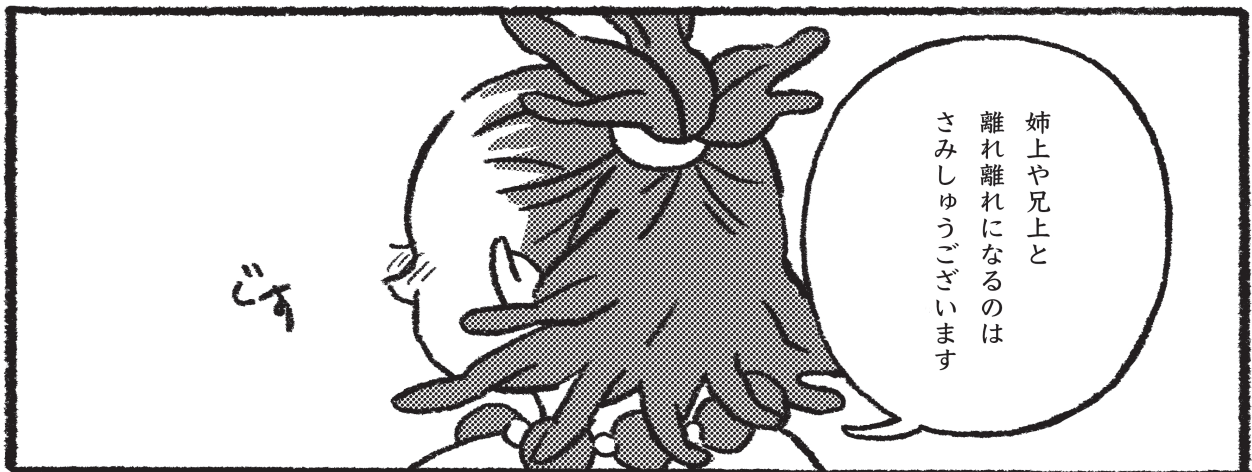
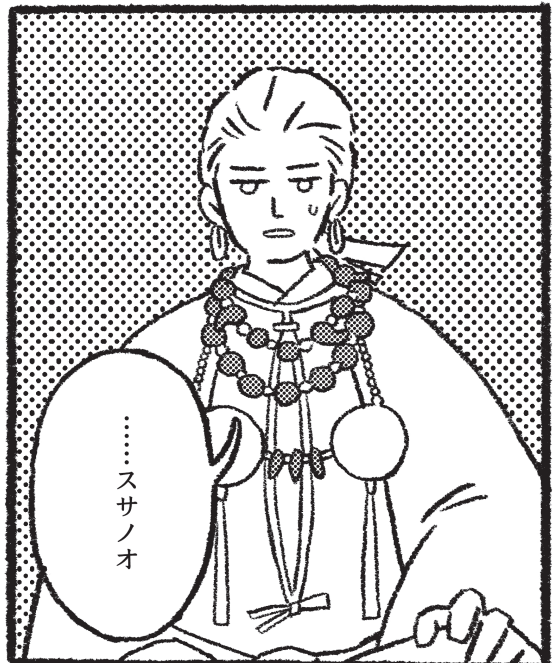


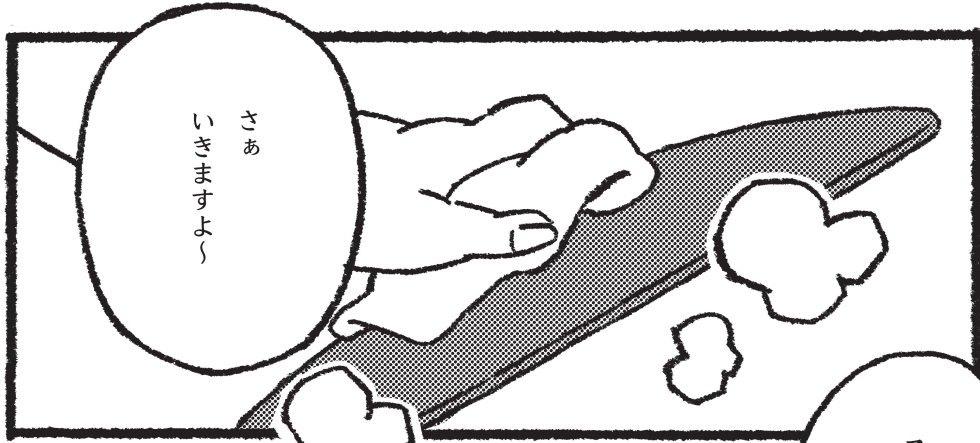
ツクヨミ

お前はみなが
安心して眠れるよう
夜の国を治めなさい

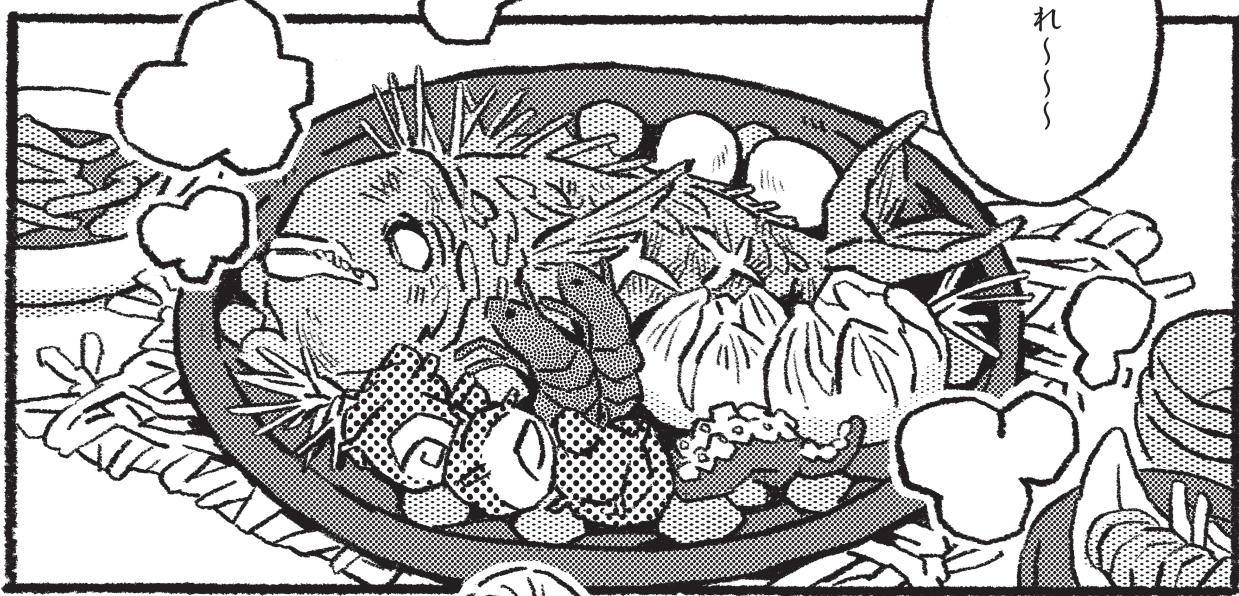
アマテラス

お前は太陽のように
みなを導き
高天の原を治めるのだ

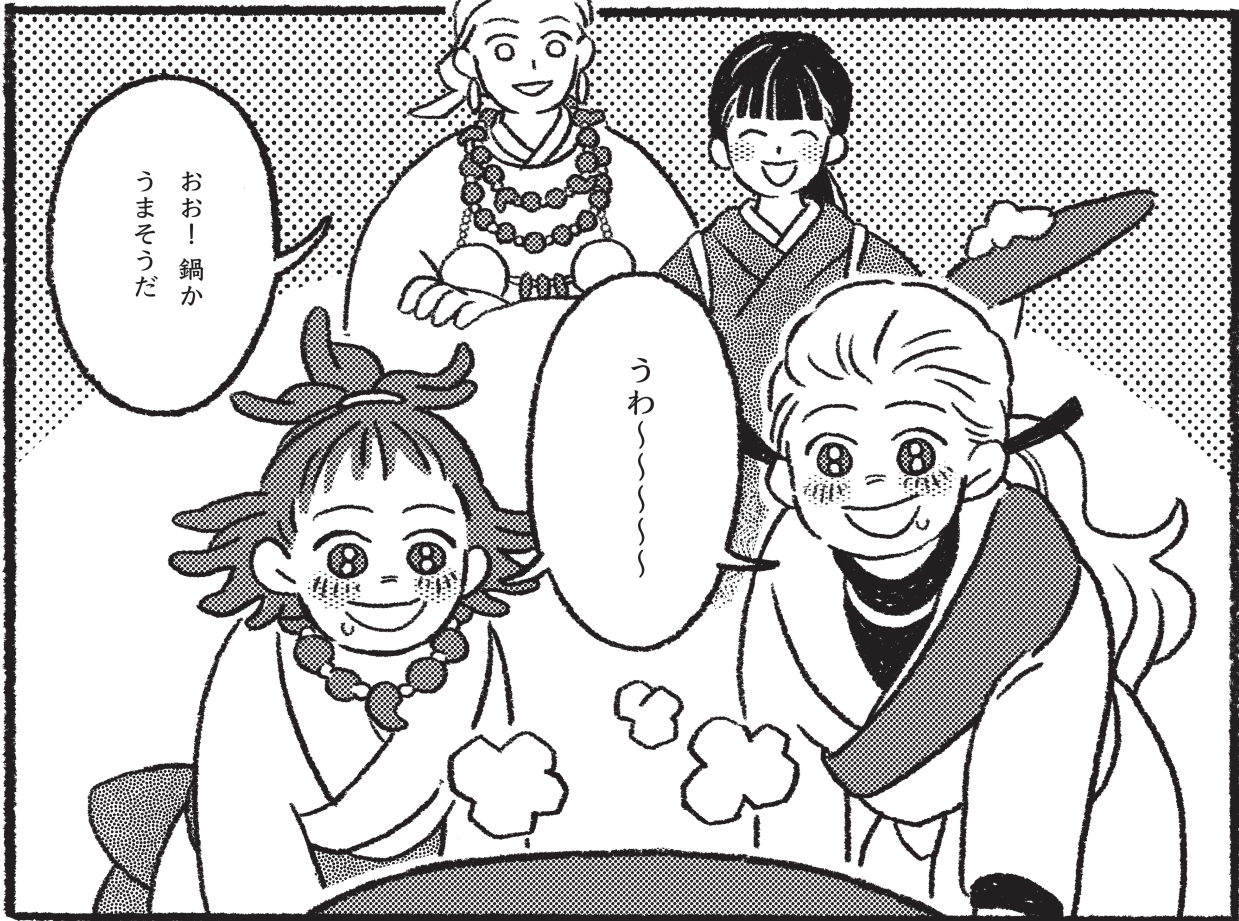




さあ
いきますよ〜

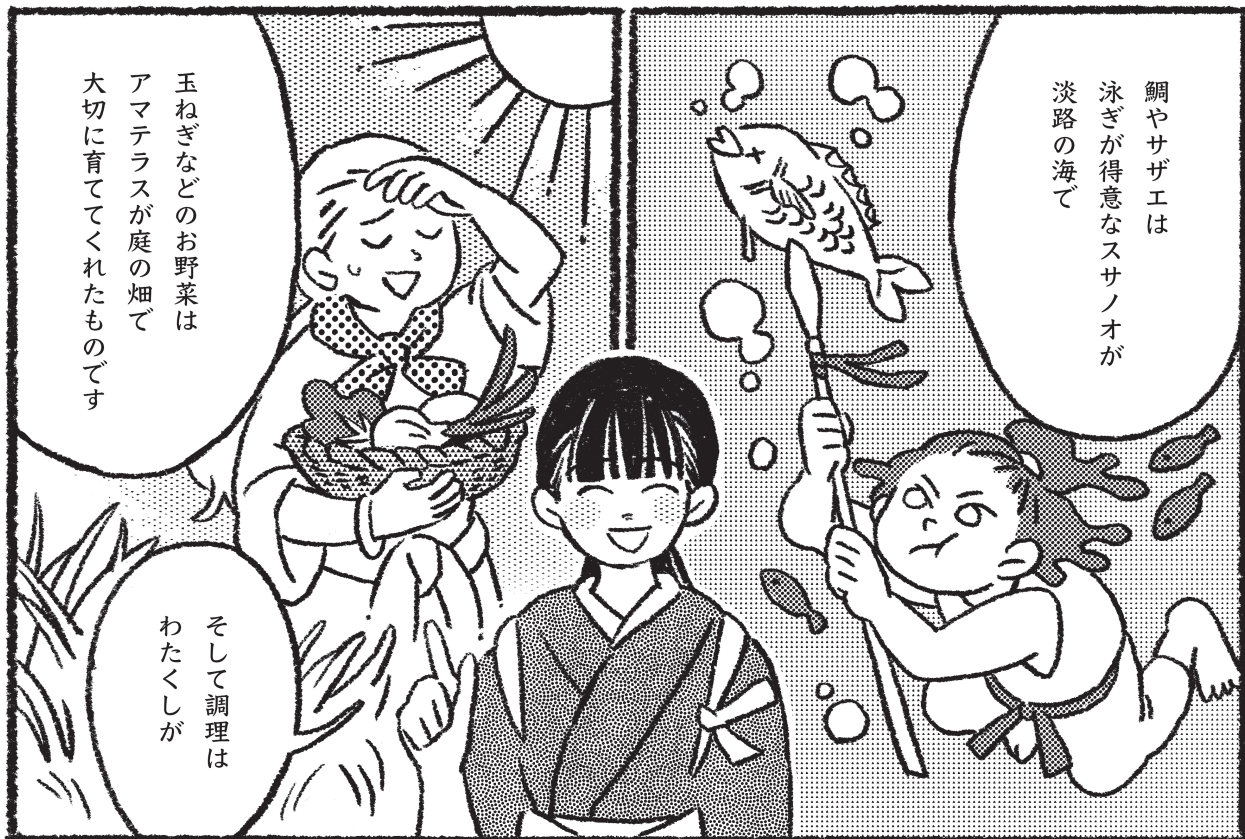


それ〜



おお！鍋か
うまそうだ

うわ〜



鯛やサザエは
泳ぎが得意なスサノオが
淡路の海で

玉ねぎなどのお野菜は
アマテラスが庭の畑で
大切に育ててくれたものです

そして調理は
わたくしが

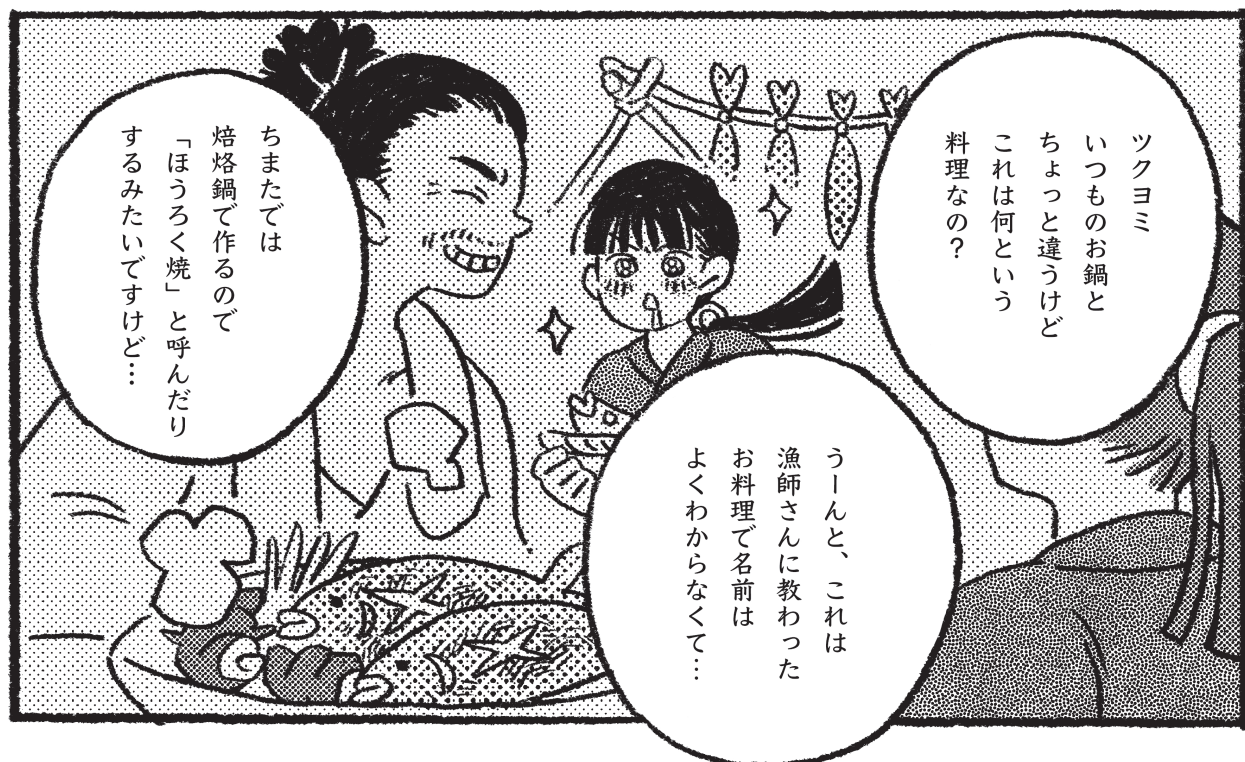


父上っ この鯛もっ
このサザエもっ

このスサノオが
獲って
参りましたっ

そうか
そうか

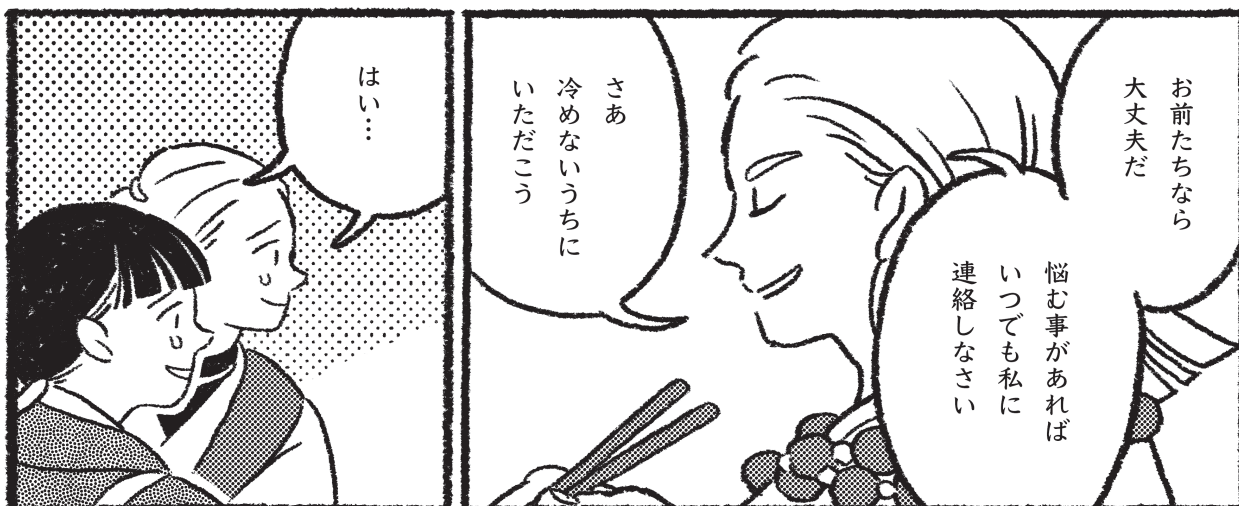
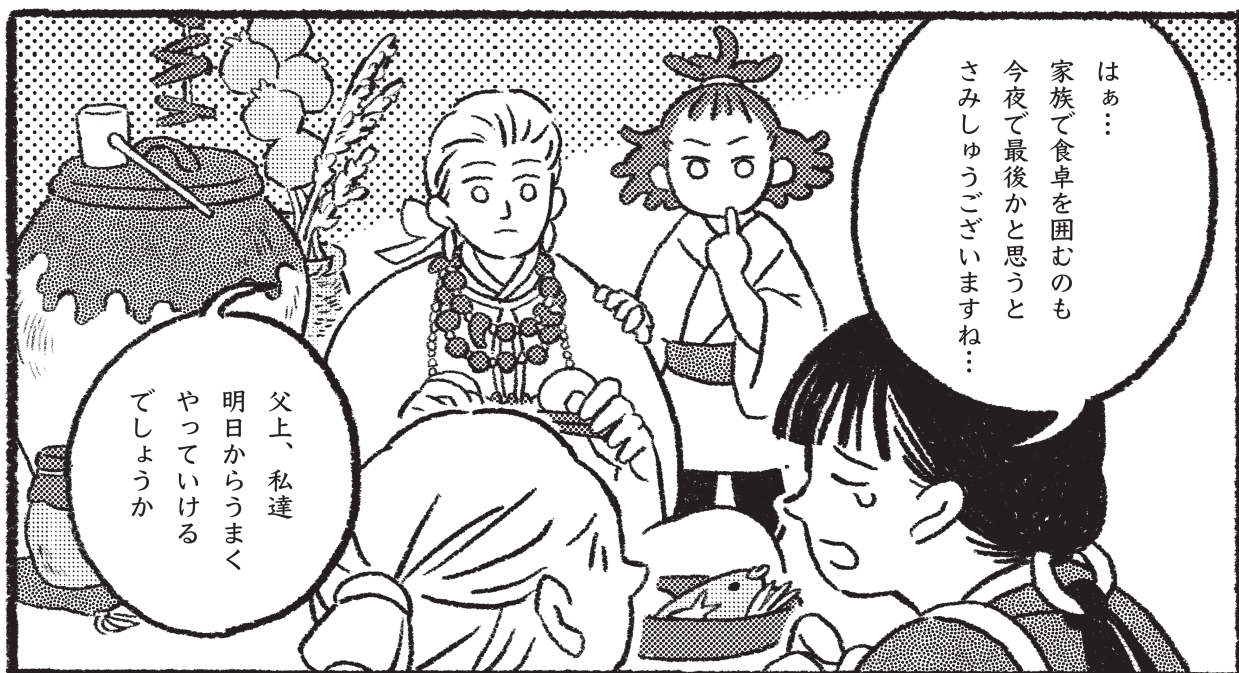
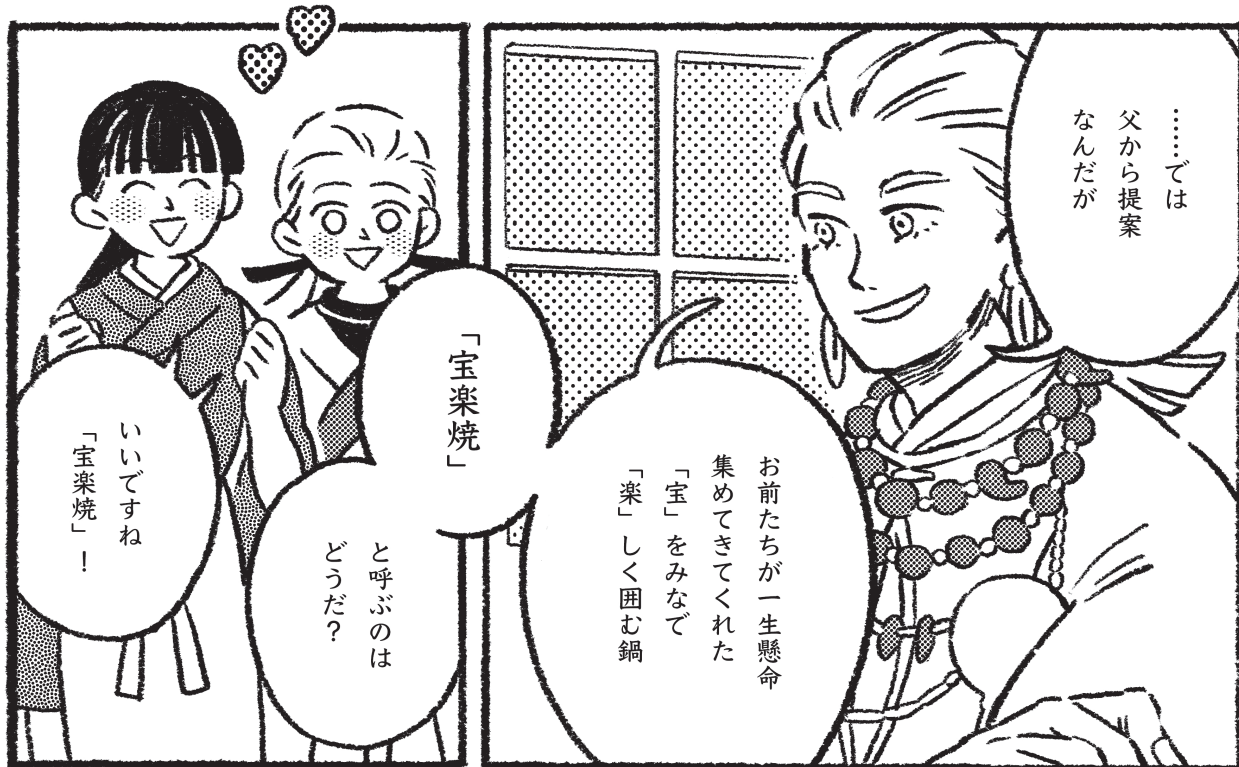
切替えの
早い奴だ

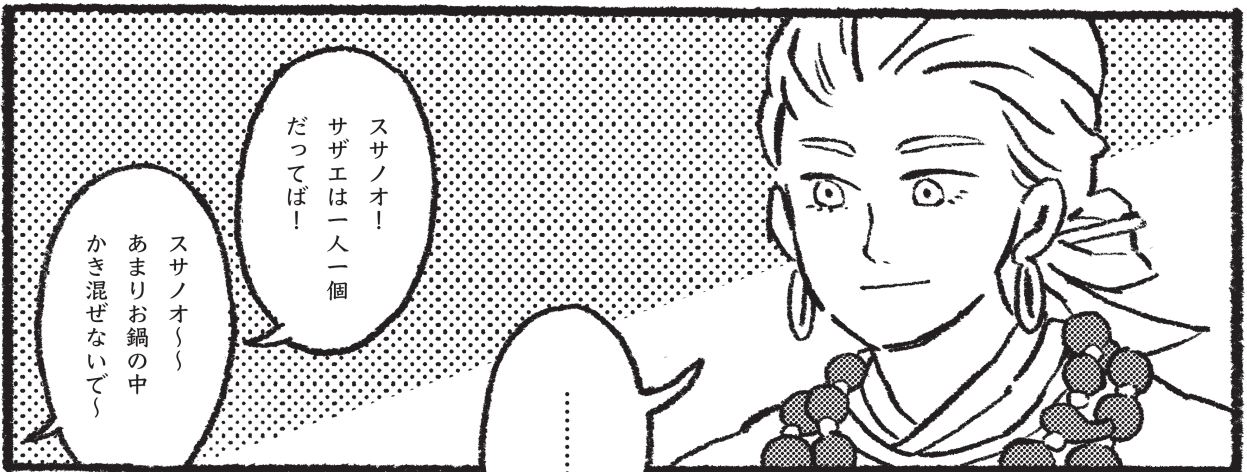
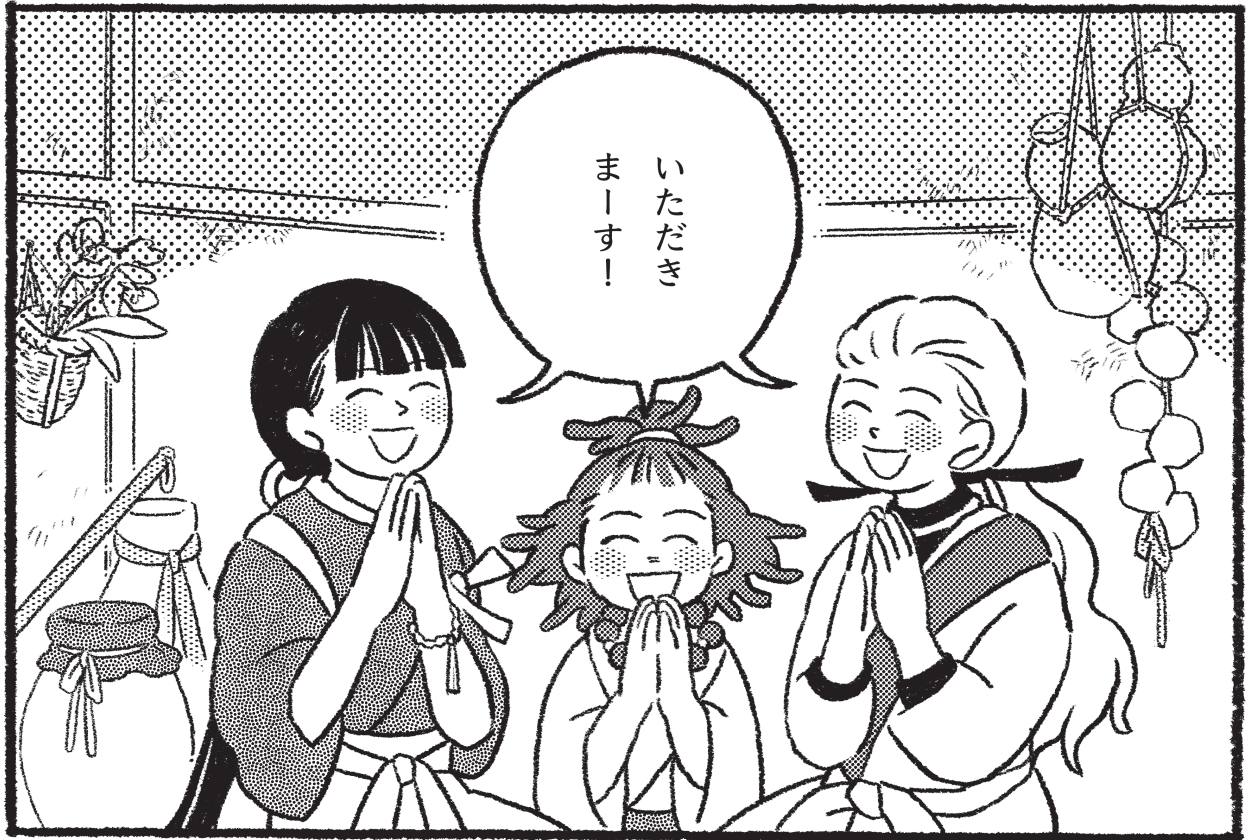


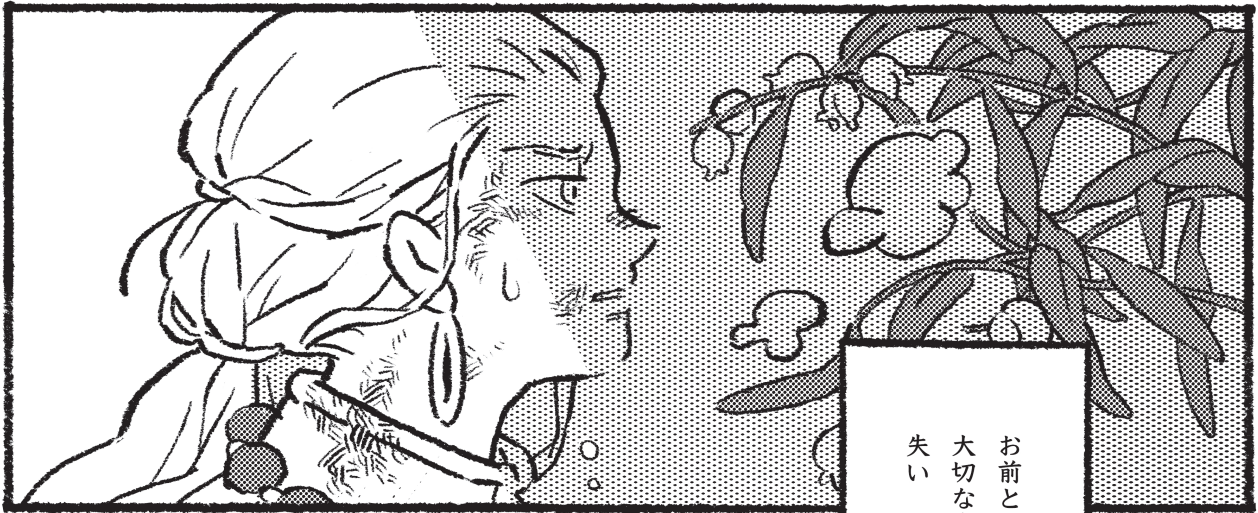
ツクヨミ
いつものお鍋と
ちよつと違うけど
これは何という
料理なの？

うーんと、これは
漁師さんに教わった
お料理で名前は
よくわからなくて…

ちまたでは
焙烙鍋で作るので
「ほうろく焼」と呼んだり
するみたいですけど…





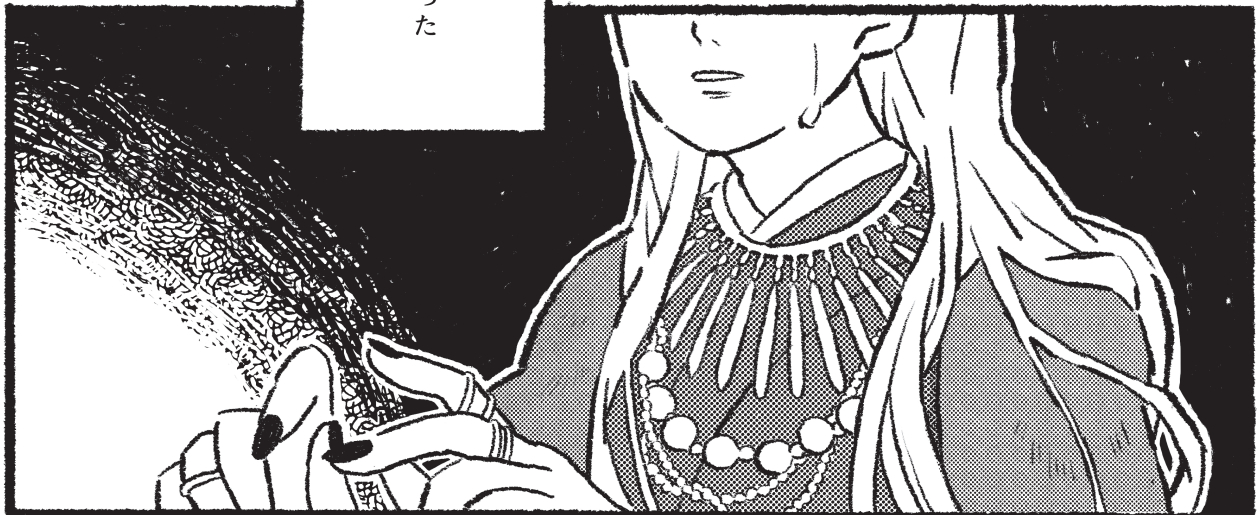


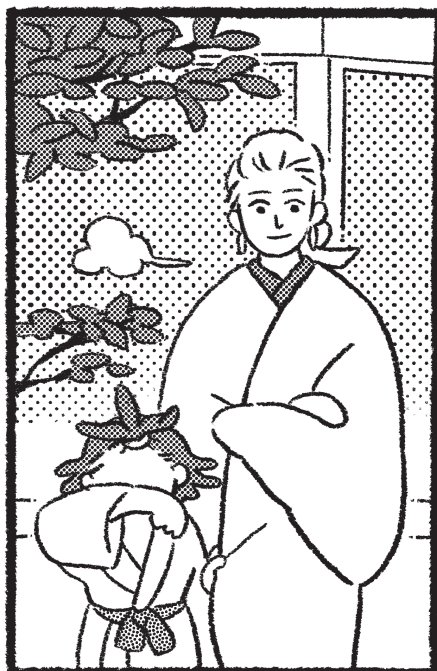
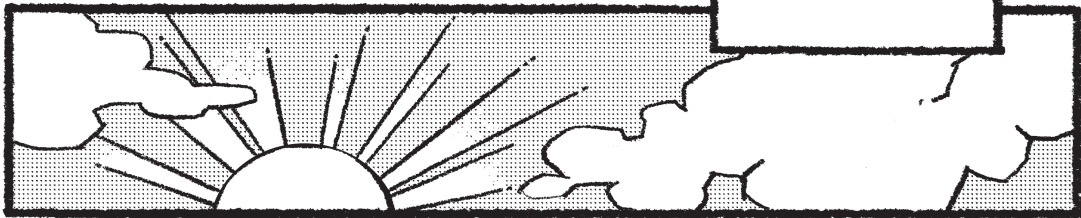
お前という
大切な存在を
失い

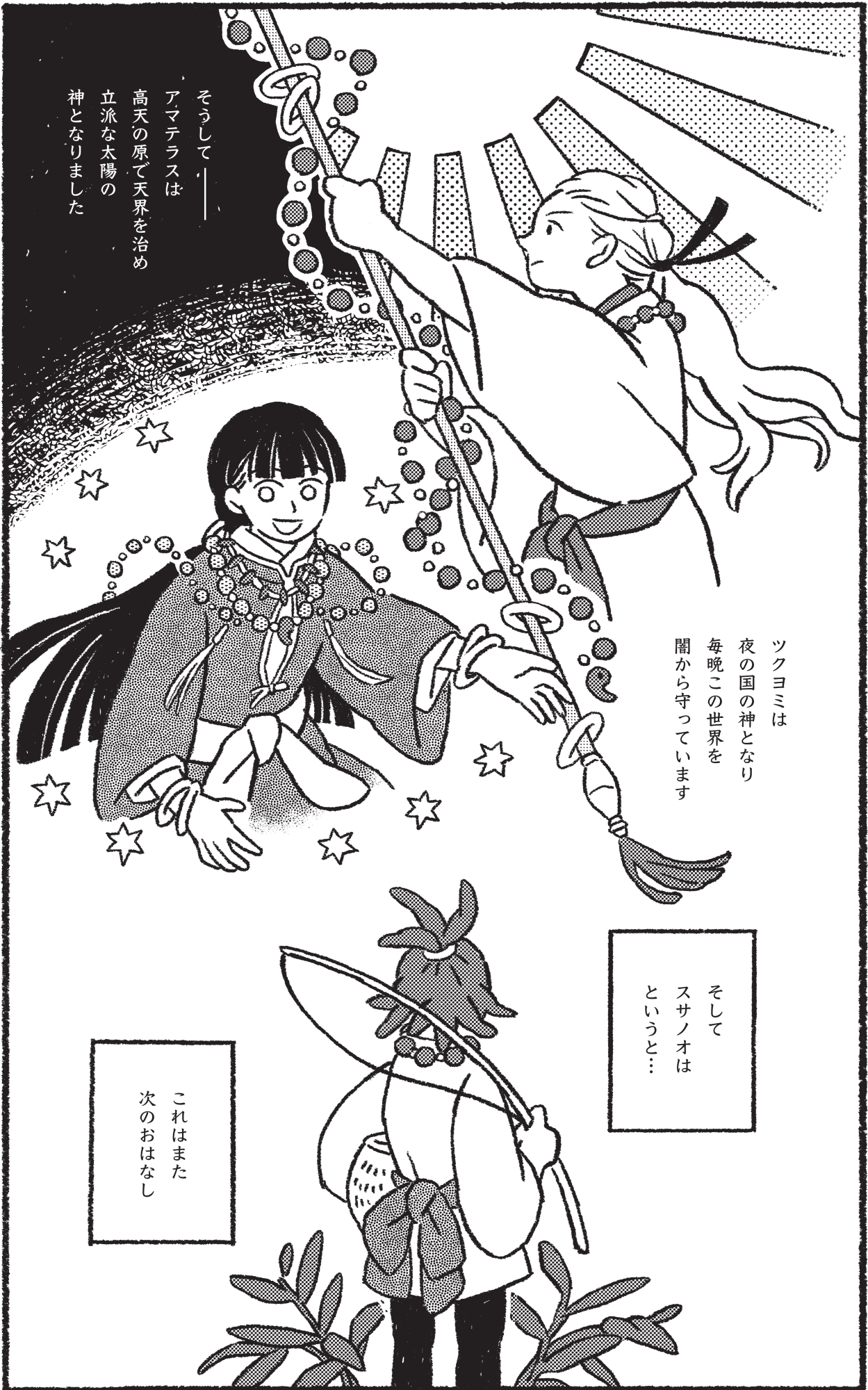


私は長い間
深い深い悲しみに
暮れていたが…

絶望の中
現世に戻った
あの日







そうして
アマテラスは
高天の原で天界を治め
立派な太陽の
神となりました

ツクヨミは
夜の国の神となり
毎晩この世界を
闇から守っています

そして
スサノオは
というと…

これはまた
次のおはなし